

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [02020] 6-チオグアニンヌクレオチド

受託開始日

- 平成22年10月12日(火)

6-チオグアニンヌクレオチド (6-TGN)

6-チオグアニンヌクレオチド(6-TGN)は6-メルカプトプリン(6-MP)やアザチオプリン(AZA)の代謝物です。6-MPは抗腫瘍剤として白血病などの治療に用いられ、その誘導体であるAZAは臓器移植時の拒絶反応抑制やクローン病治療などに使用される免疫抑制剤です。

AZAは、それ自体ほとんど活性を持たないプロドラッグで、体内で6-MPに分解され、さらにキサンチンオキシダーゼ及びチオプリンメチルトランスフェラーゼ(TPMT)により代謝を受け、尿中に排泄されますが、細胞内に取り込まれた6-MPはヒポキサンチン-グアニンホスホリボシルトランスフェラーゼ(HGPRT)によりチオイノシン酸になり、さらに6-TGNに代謝されます。

活性代謝物である6-TGNは毒性を有するため、過剰投与を行うと骨髄抑制による感染症や内出血及び出血、肝機能障害などの副作用を発現する原因となり、発がん性も報告されています。またTPMT活性は個人差が大きいといわれ、その活性に応じ投薬量を調節する必要があります。

本検査は赤血球中の6-TGN濃度を測定するものであり、副作用発現回避のために適正な投薬量を決定する有用な指標となります。

検査要項

項目コード	02020
検査項目名	6-チオグアニンヌクレオチド
検体量／保存方法	EDTA加血液 2mL／冷蔵(凍結不可)
検査方法	HPLC-UV法
有効治療濃度	235～450 pmol/ 8×10^9 RBC
所要日数	6～8日
特定薬剤治療管理料	未収載
定価	7,500円
主な商品名	イムラン、アザニン、ロイケリン

参考文献

Cuffari C, et al : Gut 48, 642～646, 2001.